

会議録

令和7年7月16日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和7年度第2回定例会
開催日時	令和7年6月18日(水) 午後6時30分 から 午後8時00分 まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小須田厚子(会長)、松本静(副会長)、澤井稔、小池教之、渡邊耕造、下坂小百合、亀倉康悦、花房敦子、ギログリー江美、鈴木明美、小林大介、荒井容子、坂内夏子 事務局：近藤館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、根岸分館長(芝久保)、菅野分館長(谷戸)、一之瀬分館長(保谷駅前)、三城事業係主任
欠席者	小林資郷
議題	1 審議事項 (1) 令和6年度第10回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和7年度第1回定例会会議録(案)について 2 主要事業について (1) 令和6年度公民館主催事業報告について(資料2) (2) 令和7年度公民館主催事業計画について(資料3) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) その他 ア 令和6年度西東京市公民館事業評価表について イ 公民館運営審議会だよりについて (2) 令和7年度第3回定例会の開催について
資料	【配付資料】 資料1 令和6年度第10回定例会会議録(案) 資料2 令和6年度公民館主催事業報告書 資料3 令和7年度公民館主催事業計画書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(3名) ☐ なし
会議内容	
1 審議事項 (1) 令和6年度第10回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和6年度第10回定例会会議録(案)について承認 (2) 令和7年度第1回定例会会議録(案)について ●令和7年度第1回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し1週間以内を目途に修正意見を事務局に送ることとする。 2 主催事業について (1) 令和6年度公民館主催事業報告について(資料2) ○事業係長 子どもを取り巻く環境について考える講座(保育付き)「なぜわが子はどうして登校するのか」(柳沢)について、9月の講座ではテーマに関心のある地域の方を対象として実施	

して多くの反響があったため、今回は保育を付けて当事者をメイン対象として実施した。2回の短期講座だったが、保育の利用者が10人、保育室に入れない就学児向けのレクリエーションルームの利用者が3人と想定よりも多く、テーマに対するニーズがあると感じた。

○A委員

子どもを取り巻く環境について考える講座（柳沢）の担当者の考察・課題について、参加者は地域に関心を持っている方だったのか。

○事業係長

今回は約半数が当事者だった。そこに9月の講座から引き続きの参加者も含め、地域に関心を持つ方たちが参加し、話し合う講座となった。

○A委員

内容について、これから小学生になる子を持つ保護者の方も、驚きを持って話を聞いていたのか。

○事業係長

講師が多く事例を紹介する中で、驚きの声が出た内容が半分、「あるある」と大きく頷く内容が半分という手応えだった。20代の保護者の感覚とも異なっている部分があり、子どもを取り巻く環境がリアルタイムで変化していることが分かった。

○A委員

大学生の参加者の感想として、自分にとっては当たり前に入っていたことに対して親世代がこんなにも驚いていたことに逆に驚いた、というものがあつた。当事者の声を聞き、大人側の意識を変えていけるような仕掛け（次のステップ）に発展出来たらよいと考える。

○事業係長

今後の展開として考えていきたい。

○B委員

9月の講座を受けとても関心を持った。今回は第2回に参加できなくて残念だった。「子どもたちは幸せの扉を叩いている」という見出しにジンとした」という感想がとても気になる。内容について伺いたい。

○事業係長

第1回は9月の復習がメインで、学校や学校を取り巻く社会の状況を中心に話をしていた。第2回では、学校以外の環境や、SNS・ゲームなどのツールも含めて、現代の子どもの特徴や社会との接し方について、フィールドワークから拾い上げた声を中心にお話いただいた。ただ、昔から変わっていないのは、それらが子どもが自ら幸せで楽しくいるためのサインであることで、それを大人は逃してはいけないという趣旨の内容であった。

○C委員

今回のテーマや短期講座へ保育を付けたこと等も含めて、トライアルをすることによって、新しい参加者が増えることは良い。

○D委員

子育て中の外国人女性のための日本語講座（保育付き）（柳沢）、BOSAI カフェ（柳沢）、共催事業「サークル公開講座子ども対象・大人対象陶芸体験教室～湯のみをつくろう～」（柳沢）、ヤギフェス vol.13 柳沢みんなの文化祭来て！見て！一緒に響き合おう！（柳沢）など、一つひとつの事業を読み取っていくと、それぞれの事業に参加者等が関わっていることがよく分かった。その中で、ヤギフェス vol.13（柳沢）において、「公民館が明るい。」「展示がとても良い。」などの声が子どもや高齢者から聞けた。とても充実していたし、高校生の文化祭が、この街にあるようでとても温かい感じだった。これからも取り組んでもらえたらと思う。

○事業係長

「まちの文化祭のようだった」というご意見は、まさにそれを目指してやってきていたので、ぜひ実行委員会で報告をしたい。

○A委員

ヤギフェス vol.13（柳沢）は、ドローンとベリーダンスなどの違う団体同士のコラボも多くとても良かったと思う。一つひとつ丁寧に積み重なっていて、新しい参加者も増えてい

る。子育て中の外国人女性のための日本語講座（柳沢）についても、継続していくことで成果をあげていると思う。陶芸サークルとの共催で行った陶芸講座も、調整や運営が大変だったと思うが実現できている。また、共催事業「西東京市民映画祭 2025 第 21 回自主制作映画コンペティション最終予選会」（柳沢）は、公民館で予選会をやることで盛り上がったと感じた。

○E 委員

ヤギフェス vol.13（柳沢）に参加し、素敵なお祭りだなと本当に実感した。広い部屋に色々な展示物や外国の方の作文などがあり、涙が出るようなとても感動的な文章が読めた。このようなことを支えている公民館は凄いなと感じる。実行委員の方々も、このイベントを盛り上げようという姿勢が伺えた。絵本の読み聞かせは、子どもだけでなく、色々な世代が参加しているのが見受けられた。皆で盛り上げているヤギフェス vol.13（柳沢）は素晴らしい。

○F 委員

ひばりが丘フェスティバルの実行委員長として、ヤギフェス vol.13（柳沢）には非常に興味を持っている。ひばフェスの今後の課題として、活動団体とのコラボを増やしていきたいことや、多世代での交流を深めていきたいことなどがある。ヤギフェスは、この地域の特性なのか、それとも何かのきっかけがあって、このようなおまつりになっていったのか、お尋ねしたい。

○事業係長

ヤギフェスも初めから今のような形だったわけではない。コロナ禍での苦勞を乗り越えてきた経緯もある。今強く感じるのは、実行委員会のメンバーが自分たちのまつりであるという気持ちが強いこと。事務局を介さず、いろんな意見が出て自主的に話が進んでいく感覚がある。多世代が関わるようにする取り組みや展示方法の工夫なども、実行委員会の思いが形になったもの。同時に、前任が右往左往しながらそうした土壌を整えてきたことを感じている。

○A 委員

今回、BOSAI カフェ（柳沢）について、参加者の評価アンケートの記載がないのはなぜか。

○事業係長

この事業は、地域防災講座で学んだ有志からなる B O S A I カフェ企画運営委員会のメンバーがテーマやコーナーごとに説明や助言をしていく形式のため、通常の講座を前提とした評価アンケートが適用できないため記載していない。

○A 委員

参加者の感想や意見を集めるためのアンケートは実施したのか。

○事業係長

そちらは実施し、事業報告書にまとめて掲載した。

(2) 令和 7 年度公民館主催事業計画について（資料 3）

○D 委員

公民館側でピックアップした事業について発言していただきたい。

○分館長（田無）

昨年に続き 2 回目の実施となる子どもと保護者対象夕方講座「ちはやふる！親子で百人一首かるたを楽しもう（田無）」は、前回の報告の際に審議会でご意見をいただいたことも踏まえ、5 回の入門編に加え、3 回の初級編、最終回では参加者全員での大会を実施する。

○分館長（駅前）

音楽で西東京をつなぐ事業として、みんなのけいおん講座（保谷駅前）は、音楽の知識や演奏技術の基本から学び、ギター、ドラム、キーボード、ボーカルなど各グループでパート練習し合奏する。また、趣味講座 6 公民館ライブツアー（保谷駅前）は、音楽演奏施設がある駅前公民館特有の事業で、市内のすべての公民館を巡り、みんなのけいおん講座で集まったメンバーがライブツアーを行う。

○G委員

【共催事業】地域連携講座落語っておもしろい！あなたもハマる落語の世界（保谷駅前）に講師として出演する。昨年8月に行った時は親子連れが多く、紙コップを使ったマジックを教え、各自披露してもらった。1月は高齢者の方が多かったが、共に好評であった。今年度は、白い紙がお札に変わるマジックをしたいと思う。

○A委員

タイトルにマジックを入れた方が良いのではないか。

○分館長（駅前）

タイトルについては、事業担当者が保谷落語愛好会と西東京マジッククラブとの話し合いのもと決定した。

○D委員

公民館だよりに掲載した場合、マジックが入っていた方が分かりやすいので検討して欲しい。

○分館長（駅前）

検討する。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

令和7年第2回西東京市議会定例会において、公民館に関する質問等はありません。

○D委員

7月から社会教育課が地域学習推進課に名称が変わることについて報告はないか。

○公民館長

社会教育としての事業内容について変更はない。

○D委員

旧保谷市時代から社会教育として歴史のある中で、とても親しみがある言葉と感じている。公民館活動については変わらないという認識ではいるが、社会教育という言葉が無くなるのは残念である。

○H委員

国や都の現行の組織見直しに伴い、名称が変わることは大きなことと考えている。市民はこの言葉を大事に思っている方も多いのではないか。

(2) 公民館だより編集室報告

●担当委員より6月5日開催の公民館だより編集室会議について報告。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

●担当委員より6月12日開催の委員部会運営委員会について報告

●第62回東京都公民館連絡協議会研究大会（2月7日）の概要説明

●委員部会研修会（10月開催予定）の概要説明と協力依頼

4 事務連絡及び情報交換

(1) その他

ア 令和6年度西東京市公民館事業評価表について

○事業係長

令和6年度西東京市公民館事業評価表について、8月の定例会で公民館による1次評価内容を確認していただき、その後審議会での2次評価をしていただき、11月の教育委員会に提出するスケジュールでお願いしたい。

イ 公民館運営審議会だよりについて

○D委員

「公運審紹介」は、一昨年度、昨年度と発行した。利用者懇談会等で活用する公民館運営

審議会の紹介紙として年に1回発行したいと思う。内容として委員の自己紹介としたいので、次回の公民館運営審議会までに300字程度で原稿を作成していただきたい。

○A委員

「公運審紹介」の内容について、公民館サポーターのことについても掲載したらどうか。公民館運営審議会の役割を伝えることができればよいと考えている。

(2) 令和7年度第3回定例会の開催について

日時：令和7年7月16日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室